



お客様



おひとついかがですか？

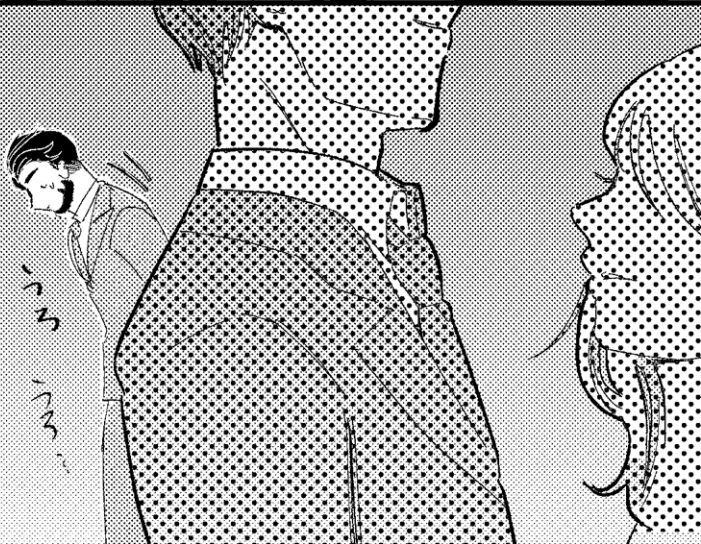
こちらレセプションを記念した
オリジナルカクテルでございます。

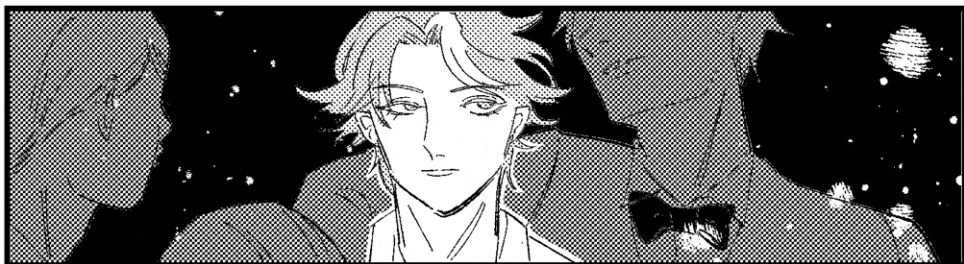


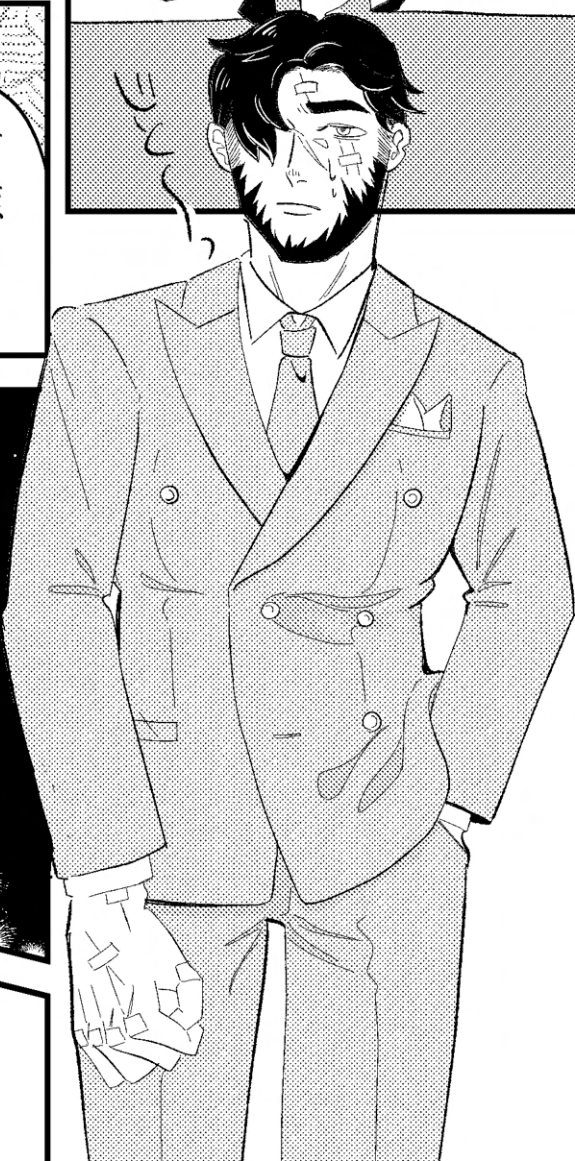
モクテルのご用意も
ございますので、
何なりとお申しつけ
ください

左様ですか
失礼いたしました

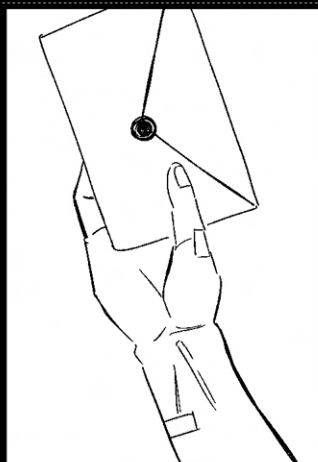
あゝ、いや、すまない
下戸なもんでね







一週間前







おい、俺をお前の知り合いに紹介するつもりか？

方便に決まってるだろ。ヘンな虫を追い払うためのな。

虫？

それより美味しい肉でも食え

フシヤバフシヤバ

見せつけてくれるねエ

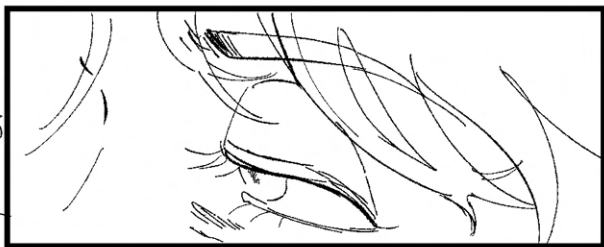
君の情夫か??

情夫ね…

用心棒時代、何万回と言われてきた文言だな

違う！

友人だ！



俺のために
お前が傷つくことも



すまなかった



ただの友人なのに、
いらぬ勘ぐりを受けて
さぞ不快だったろう？

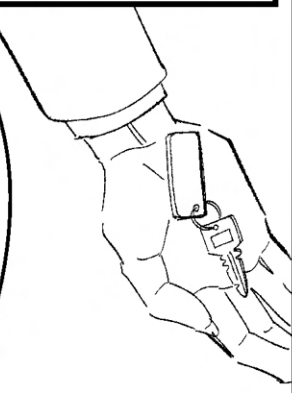
俺は別に…



らしくない
ことをした



だが



お前をここへ
連れてくるべきでは
なかった



我が友人がどんなに
素敵か、自慢したかった
のかもしれないな



これ以上お前が
ここに居ることもない。
私はタクシーでも拾おう



街中で人に眺められてる時も



ハイドは
なんだかんだ、
寂しがりだから



周りに
人がいるのは
ホッとする

でも



人に囲まれてる
今も

余計に
寂しそうに
見えるんだ





あの！

